

2024年度版 環境経営レポート



発行年月日 令和7年6月27日

泉建設工業株式会社



®環境省

エコアクション21

認証番号 0007299

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針の策定	3
4. 環境管理組織体制	4
5. 環境活動への取組の全体概要	5
6. 環境経営目標	6
7. 環境経営計画	7
8. 環境経営目標の実績	8
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
10. 次年度の環境経営目標	12
11. 次年度の環境経営計画の取組内容	13
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	15

発行日：令和7年6月27日

発行責任者：代表取締役 川崎 潤明

次回発行予定：令和8年6月 頃

1. 組織の概要

【事業者名】

泉建設工業株式会社

【代表者氏名】

代表取締役 川崎 潤明

【所在地】

本社 高知県高知市知寄町一丁目2番8号
南国営業所・倉庫 高知県南国市稲生1271番地
四万十営業所・倉庫 高知県四万十市右山南中山2036番地5号
嶺北営業所 高知県土佐郡土佐町田井1004-1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 営業部・部長 田村 嘉邦
連絡先担当者 営業部・部長 田村 嘉邦
連絡先 TEL:088-885-4080
FAX:088-885-4085
E-mail:tamura@izumikk.jp

【事業内容】

建設業(主にアスファルト舗装等の工事を行っています。)

建設業許可

許可番号 高知県知事許可(特-3)第1558号
許可年月日 令和3年9月25日
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、
鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和44年6月12日
資本金 2,100万円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
製品生産量・出荷額(売上高) (千円)	1,213,324	1,263,522	1,169,872	1,237,125
従業員数 (名)	47	49	54	53

従業員数は、令和7年6月1日現在

床面積：本社65.1㎡、南国営業所216.06㎡、倉庫393.95㎡、嶺北営業所40㎡
四万十営業所206.89㎡、倉庫75.42㎡

会計年度 6月～5月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

泉建設工業株式会社	対象事業所：全社	
本社	高知県高知市知寄町一丁目2番8号	(常駐者：6名)
南国営業所・倉庫	高知県南国市稲生1271番地	(常駐者：24名)
四万十営業所・倉庫	高知県四万十市右山南中山2036番地5号	(常駐者：17名)
嶺北営業所	高知県土佐郡土佐町田井1004-1	(常駐者：6名)

事業活動：建設業（土木工事業，とび・土工工事業，舗装工事業）

【レポートの対象期間】

2024年6月～2025年5月

【環境経営レポートの発行日】

2025年6月27日

【作成責任者】

環境管理責任者

田村 嘉邦

3・環境経営方針の策定

基本理念

泉建設工業(株)は、舗装工事等の社会インフラの提供を通じ、全社あげて環境保全への取り組みを重要課題と認識し、事業活動によって生ずる環境への負荷を継続的に削減し、地球に優しい循環型社会の実現のために貢献していきます。

環境経営方針

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減する為に、以下の取り組みを行います。
 - (1) 一般車両及び建設機械の燃費向上を図り、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 本社及び営業所の節電を行い、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (3) 一般廃棄物・産業廃棄物排出量の削減及び、リサイクルを推進します。
 - (4) 本社及び営業所の節水活動により、水使用量を削減します。
 - (5) 当社が施工する工事において、環境に配慮した施工を行います。
 - (6) 事務所用品などのグリーン購入を推進します。
 - (7) 地域周辺に対する貢献及びボランティア活動に積極的に参加します。
2. 当社の事業活動において、関連する環境関連法規及び条例等を管理・遵守します。
3. 本方針は全従業員に周知徹底するとともに継続的に環境経営を改善します。また環境経営レポートを作成し、外部に公表します。

作成日： 平成22年11月30日

改訂日： 令和2年9月1日

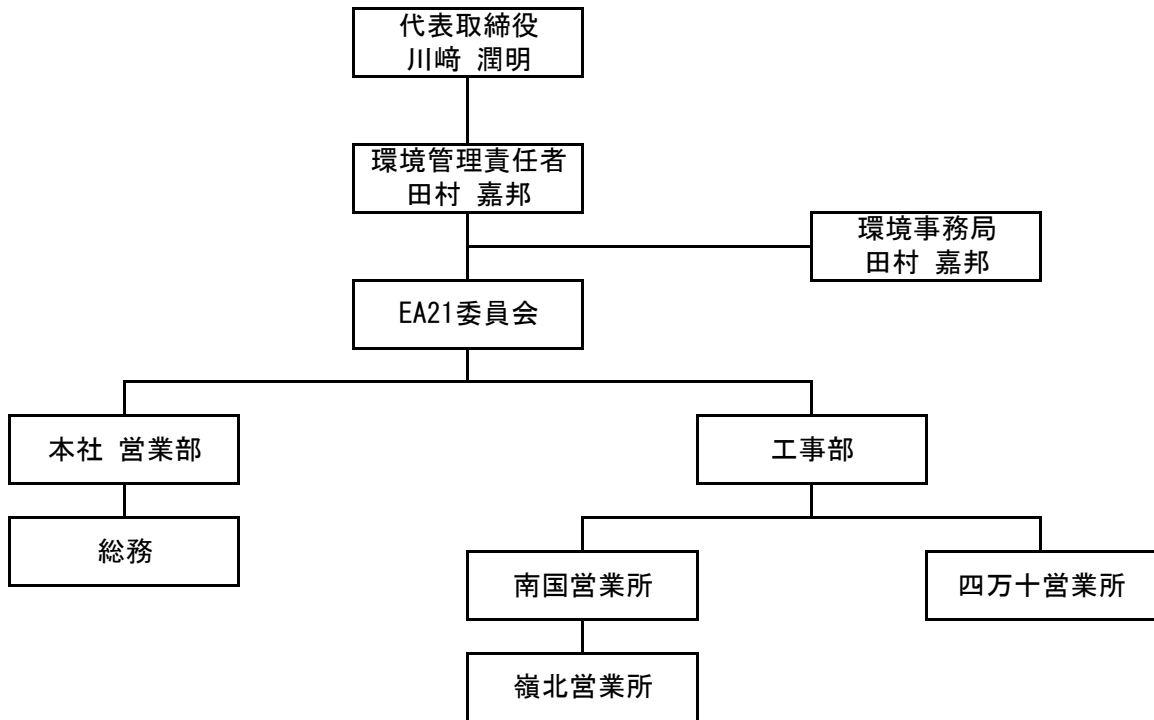
泉建設工業株式会社

代表取締役

川崎潤明

4. 環境管理組織体制

この組織全体を認証範囲とする



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	①EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②EA21の実施及び管理に必要な資源を用意する。資源には、人的資源、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。 ③環境管理責任者を任命する。 ④経営における課題とチャンスの明確化。 ⑤環境経営方針の策定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 ⑥環境経営目標・環境経営計画を承認する。 ⑦代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ⑧環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	①EA21を構築し、運用し、管理する。 ②法規制等の取りまとめを確認、遵守状況をチェックする。 ③環境経営目標、環境経営計画を確認する。 ④環境経営の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑤問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。 ⑥環境経営の取組結果を代表者へ報告する。 ⑦環境経営レポートの確認。
環境事務局 (EA21委員会)	①環境管理責任者の補佐。EA21推進の事務局として機能する。 ②環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 ③「環境関連法規等の取りまとめ」原案の作成。 ④環境経営目標原案の作成。 ⑤環境経営計画原案作成。 ⑥環境経営実績集計。 ⑦環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門長	①自部門におけるEA21の実施。 ②自部門における環境経営方針の周知。 ③自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ④自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ⑤特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ⑥自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑦自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
従業員	①環境経営方針の理解と、環境への取組の重要性を自覚。 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加。

5. 環境活動への取組の全体概要

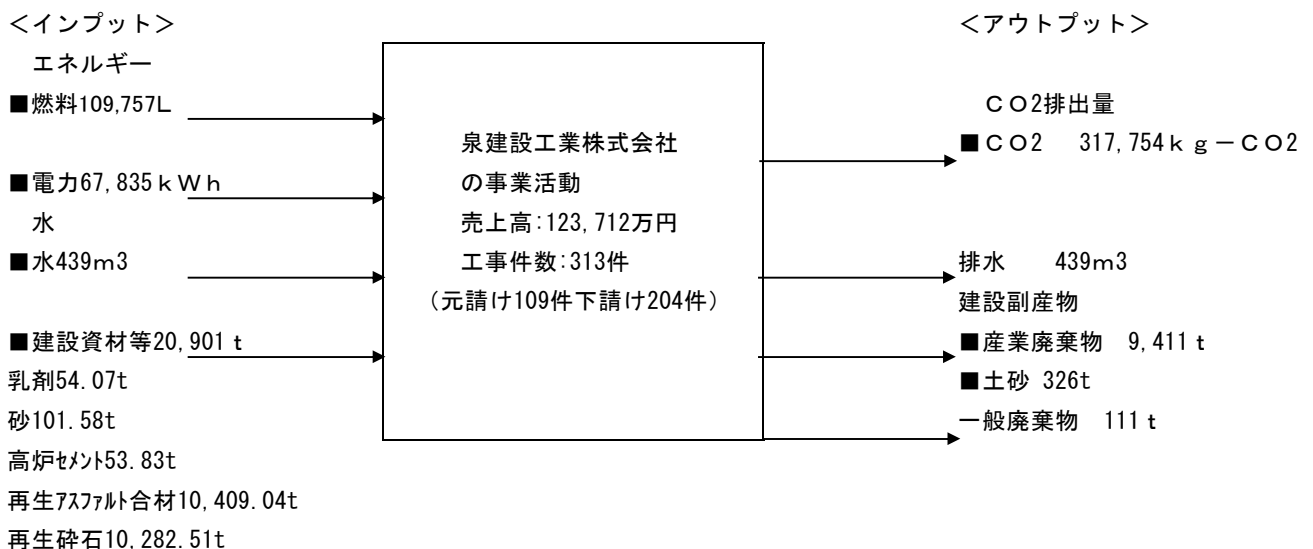
当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン（建設業者向けガイドライン2017年版）」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 電力使用量削減については、削減できませんでしたが、原単位では目標達成できました。節電ステッカーを貼り注意を喚起し、昼休み時には事務所の消灯を徹底する等活动はよくできています。今後も継続して取り組んでいきます。
南国営業所及び四万十営業所については照明をLED照明に交換しました。（2017年7月）
四万十営業所事務所内を間仕切りで区分し、エアコン使用の適正化を図りました。（2017年7月）
- 燃料使用量の削減については、目標値には届きませんでしたが、原単位では目標達成できました。環境負荷の少ない新型の営業車を導入する等改善をしています。
- 一般廃棄物削減については、目標達成できました。コピー用紙の裏紙使用を行い、又、両面使用したコピー用紙（白黒印刷）は高知グリーン推進会の回収事業に提出しています。
- 産業廃棄物削減については、総排出量では目標を達成できなかったが、再資源率では100%目標達成できました。
- グリーン購入については、環境用品を優先して購入し目標達成できました。
- 環境負荷の少ない工事については全ての工事を実施できました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（11回）、その他清掃イベントの参加（3回）実施しております。



<泉建設工業株式会社 の物質フロー>（2024年度）



6. 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	単位	基準年 R元年度 R元. 6-R2. 5	R 6年度 目標(-5%) R6. 6-R7. 5
燃料使用量	(ℓ)	109,059	103,606
電力使用量	(kWh)	59,207	56,247
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	307,838	292,446
水使用量	(m ³)	571	542
一般廃棄物排出量	(kg)	117,920	112,024
産業廃棄物排出量	(t)	8,392	7,972
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100
グリーン購入量	(%)	51	55
環境負荷の少ない 工事件数	(%)	100	100
地域貢献活動	(回)	14	14以上

基準年：令和元年6月1日～令和2年5月31日の1年を基準とする。

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2020年度実績)
(2022年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.569(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする。
- * 4. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- * 5. 環境負荷の少ない工事件数
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 環境に配慮した工法の実施

(2) 中期目標

項目	単位	R元年度 実績(基準年)	R 7年度 目標(-6%)	R 8年度 目標(-7%)	R 9年度 目標(-8%)
燃料使用量	(ℓ)	109,059	102,515	101,424	100,334
電力使用量	(kWh)	59,207	55,655	55,063	54,470
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	307,838	28,937	286,289	283,211
水使用量	(m ³)	571	537	531	525
一般廃棄物排出量	(kg)	117,920	110,845	109,666	108,486
産業廃棄物排出量	(t)	8,392	7,888	7,805	7,720
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100	100	100
グリーン購入量	(%)	51	60	65	70
環境負荷の少ない 工事件数	(%)	100	100	100	100
地域貢献活動	(回)	14	14以上	14以上	14以上

基準年：令和元年6月1日～令和2年5月31日の1年を基準とする。

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2020年度実績)
(2022年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.569(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする。
- * 4. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- * 5. 環境負荷の少ない工事件数
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 環境に配慮した工法の実施

目標値：基準年をもとに毎年1%減。

7. 環境経営計画

期間：令和6年6月 ～ 令和7年5月

キャッチフレーズ：3R運動の徹底（Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル））

項目	活動内容	担当者	期限	
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブを行い法定速度を守る ○不要な荷物を出来るだけ車から降ろす ○アイドリングストップ運動を推進する ○定期的にタイヤの空気圧をチェックする ○排出ガス規制建設機械及びエコカーの導入を検討する ○計画的な運行計画 ○燃費の管理 ○エコドライブ10のすすめを事務所に掲示し意識付ける 	営業部長 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長 令和7年5月31日	
	電力使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な工程管理により工期を短縮し、重機の 使用時間及び台数を減らす ○重機のアクセル開度を70～80%での運用 (又はエコモード運転) 		工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エアコンの設定温度の適正化（暖房26℃±2℃、冷房27℃±1℃） ○ケルピス、ウォームピスの励行 ○窓ガラスの冷暖房中の開け放し禁止 ○使用時以外のトイレ・会議室等の消灯 ○昼休みの消灯 ○照明センサー付照明器具の設置 	総務担当者 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和7年5月31日	
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○蛇口の閉め忘れがないか確認する ○洗車時の節水（泥落とし、節水スリッパ-使用） ○漏水点検の実施 	営業部長 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和7年5月31日
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○社内文書は出来るだけ電子化を進め、外部 連絡にはメールを使用する ○印刷時の確認を徹底し、ミスコピーを減らす ○両面コピーを心がける ○内部文書の裏紙使用 ○紙コピは指定の袋に入れ計量し、データ管理をする ○高知クリーン推進会に入会し、OA用紙のリサイクルを図る 	総務担当者	令和7年5月31日
		<ul style="list-style-type: none"> ○材料の注文を適切に行い、余分な材料を少 なくする ○運搬・処分委託契約を必ず交わす ○処分場の許可、処分時の追跡・調査 ○マニフェスト伝票による管理の徹底 ○分別を徹底し、再生利用を行う ○産業廃棄物は再資源化処理業者に委託する 	工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和7年5月31日
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○再生コピー紙を購入する ○エコマーク文具を選定購入する 	総務担当者	令和7年5月31日	
環境負荷の少ない 工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○低騒音・排出ガス対策型機械の使用 ○環境に配慮した負荷の少ない材料の使用 (再生材料等) ○型枠、工事看板への間伐材の使用 ○環境に配慮した工法の実施 ○ICT技術による施工の効率化 	工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和7年5月31日	
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所周辺の清掃活動の実施 ○ロードボランティア活動に参加する 	全員	令和7年5月31日	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年	R 6 年度	R 6 年度	実績/目標 (%)	評価
			R 元年度 R元. 6-R2. 5	目標 R6. 6-R7. 5	実績 R6. 6-R7. 5		
売上高		(百万円)	1,040	900	1,237		
燃料使用量	総量	(ℓ)	109,059	103,606	109,757	106	△
	原単位	(ℓ/百万円)	104.86	115.12	88.73	77	○
電力使用量	総量	(kWh)	59,207	56,247	67,835	121	×
	原単位	(kWh/百万円)	56.93	62.50	54.84	88	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	307,838	292,446	317,754	109	△
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	296.00	324.94	256.87	79	○
水使用量	総量	(m ³)	571	542	439	81	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.55	0.60	0.35	58	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	117,920	112,024	110,515	99	○
	原単位	(kg/百万円)	113.38	124.47	89.34	72	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	8,392	7,972	9,411	118	×
	原単位	(t/百万円)	8.07	8.86	7.61	86	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100	○
グリーン購入量	総量	(%)	51	55	56	102	○
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100	100	100	100	○
地域貢献活動	総量	(回)	14	14以上	14	100	○

基準年：令和元年6月1日～令和2年5月31日の1年を基準とする。

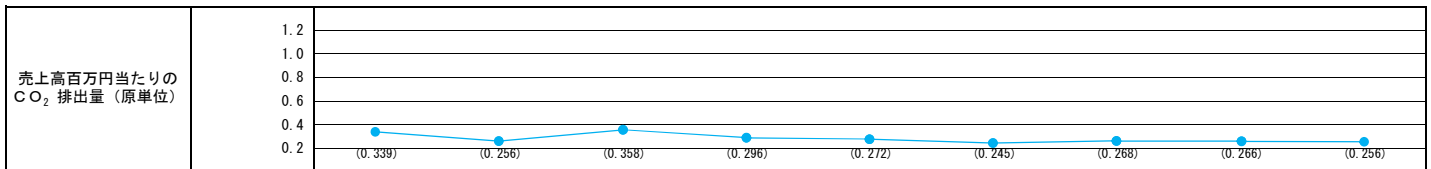
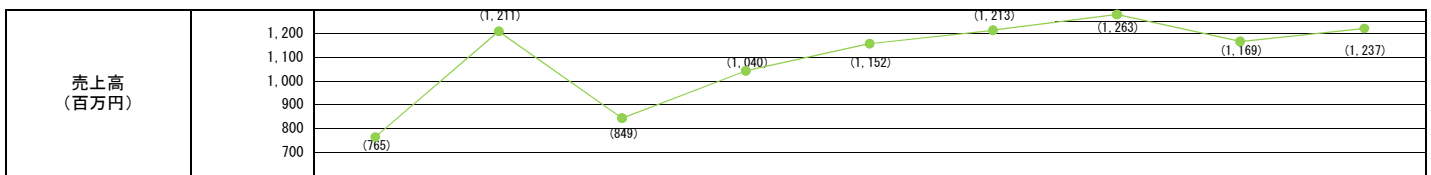
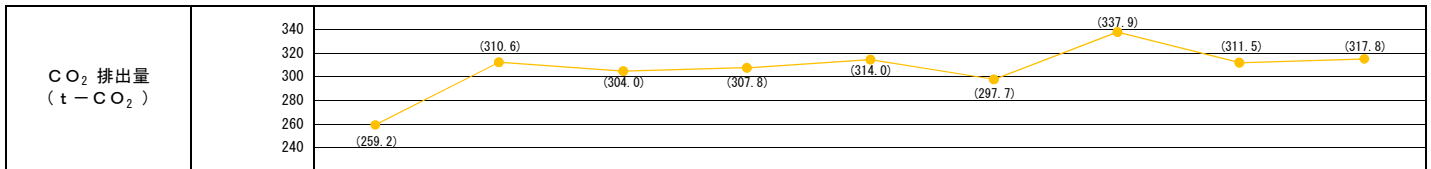
- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2020年度実績)
(2022年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.569(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 化学物質は使用してないので目標対象外とする。
- * 4. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- * 5. 環境負荷の少ない工事件数
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 環境に配慮した工法の実施
- * 6. 評価 : 達成 ○、不十分 △、未達成 ×

<環境経営目標未達成理由>

- ・燃料使用量に関しては、事業所から遠方の工事を多く受注したため、ガソリン・軽油の使用量が増加し目標を達成することが出来なかった。
- ・電力使用量に関しては、換気しながら冷暖房の使用していたため、使用量が増加し目標を達成することが出来なかった。
- ・CO₂排出量に関しては、総排出量では目標を達成できなかったが、CO₂排出原単位では達成することができた。
- ・産業廃棄物排出量に関しては、コンクリート殻及びアスファルト殻の排出量が増えたため、目標を達成することが出来なかったが、再資源化率では100%目標達成できている。

(2) 環境負荷の9年間実績推移

項目	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		実績 H28.6-H29.5	実績 H29.6-H30.5	実績 H30.6-R元.5	実績 R元.6-R2.5	実績 R2.6-R3.5	実績 R3.6-R4.5	実績 R4.6-R5.5	実績 R5.6-R6.5	実績 R6.6-R7.5
燃料使用量	(ℓ)	87,025	10,851	108,432	109,059	113,630	105,818	118,496	106,381	109,757
電力使用量	(kWh)	71,969	63,370	57,562	59,207	57,373	60,745	61,397	62,312	67,835
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	259,219	310,558	304,041	307,838	313,985	297,740	337,980	311,475	317,754
水使用量	(m ³)	511	489	506	571	520	380	481	481	439
一般廃棄物排出量	(kg)	910	950	810	117,920	97,854	143,629	66,251	115,900	110,515
産業廃棄物排出量	(t)	7,138	6,756	9,181	8,392	10,283	7,002	6,881	9,623	9,411
売上高	(百万円)	765	1211	849	1040	1152	1213	1263	1169	1237
売上高百万円当たりのCO ₂ 排出量 (原単位)	(t-CO ₂ / 百万円)	0.339	0.256	0.358	0.296	0.272	0.245	0.268	0.266	0.256



(3) CO₂ 1t当たりのエネルギーコスト

項目	単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		実績 H28.6-H29.5	実績 H29.6-H30.5	実績 H30.6-R元.5	実績 R元.6-R2.5	実績 R2.6-R3.5	実績 R3.6-R4.5	実績 R4.6-R5.5	実績 R5.6-R6.5	実績 R6.6-R7.5
CO ₂ 排出量	(t-CO ₂)	259.2	310.6	304.0	307.8	314.0	297.7	337.9	311.5	317.8
売上高	(百万円)	765	1,211	849	1,040	1,152	1,213	1,263	1,169	1,237
売上高百万円当たりのCO ₂ 排出量 (原単位)	(t-CO ₂ / 百万円)	0.339	0.256	0.358	0.296	0.272	0.245	0.268	0.266	0.256

エネルギーコスト概算 (令和6年度) (環境への負荷の状況 (取りまとめ表) より)

	単位	使用量	金額
電力	(kWh)	67,835	2,692,528
ガソリン	(ℓ)	30,072	5,599,998
軽油	(ℓ)	77,653	12,826,250
合計金額			21,118,776

年間のエネルギーコスト概算 : 約2,112万円

当該年度を基準とした場合、CO₂ 排出量3%削減すると約63万円の節約となる。

売上高に占めるエネルギー費用の割合は1.71%

CO₂ 1t当たりのエネルギーコストは約6.6万円

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：令和6年6月 ～ 令和7年5月

評価：達成 ○、不十分 △、未達成 ×

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブを行い法定速度を守る ○不要な荷物を出来るだけ車から降ろす ○アイドリングストップ運動を推進する ○定期的にタイヤの空気圧をチェックする ○排出ガス規制建設機械及びエコカーの導入を検討する ○計画的な運行計画 ○燃費の管理 ○エコドライブ10のすすめを事務所に掲示し意識付ける ○適切な工程管理により工期を短縮し、重機の使用時間及び台数を減らす ○重機のアイドル開度を70～80%での運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	継続励行
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エアコンの設定温度の適正化（暖房26℃±2℃、冷房27℃±1℃） ○ケルヒース、ケムヒースの励行 ○窓ガラスの冷暖房中の開け放し禁止 ○使用時以外のトイレ・会議室等の消灯 ○昼休みの消灯 ○照明センサー付照明器具の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ × ○ △ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ × ○ △ ○ 新型コロナウイルス等感染リスクの対策として換気を行っている。（特に見直しの必要なし） たまに忘れていたことがあった。
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○蛇口の閉め忘れがないか確認する ○洗濯時の節水（泥落とし、節水スリッパ-使用） ○漏水点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	継続励行
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○社内文書は出来るだけ電子化を進め、外部連絡にはメールを使用する ○印刷時の確認を徹底し、ミスを減らす ○両面コピーを心がける ○内部文書の裏紙使用 ○紙ゴミは指定の袋に入れ計量し、データ管理をする ○高知グリーン推進会に入会し、OA用紙のリサイクルを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	継続励行
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の注文を適切に行い、余分な材料を少なくする ○運搬・処分委託契約を必ず交わす ○処分場の許可、処分時の追跡・調査 ○マニフェスト伝票による管理の徹底 ○分別を徹底し、再生利用を行う ○産業廃棄物は再資源化処理業者に委託する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	継続励行
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○再生コピー紙を購入する ○エコマーク文具を選定購入する 	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく購入するように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	
環境負荷の少ない工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○低騒音・排出ガス対策型機械の使用 ○環境に配慮した負荷の少ない材料の使用（再生材料等） ○型枠、工事看板への間伐材の使用 ○環境に配慮した工法の実施 ○ICT技術による施工の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ○総じて良くできていると思われる。 ○（排出ガス対策型の小型アスファルトフィニッシャーの使用、CO2 排出量の少ない中温化材の使用、環境に優しいアスファルト乳剤の使用、再生材料（再生アスコン、再生砕石）の使用） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ 	継続励行
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所周辺の清掃活動の実施 ○ロードボランティア活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	継続励行

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減



節電ステッカー貼付
(平成22年12月設置)



エアコンの設定温度ステッカー貼付
(平成22年12月設置)

2. 水使用量の削減



節水シール貼付
(平成22年12月設置)

3. 環境美化活動



毎年、事務所周辺及び県道土居五台山線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行っています。

4. 認証・登録

高知県ワークライフバランス推進認定企業



認証部門：健康経営部門

認証番号：第264(2)号

認証年月日：令和4年7月1日

10. 次年度の環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	単位	R4.5.6年度 (3年平均) 実績(基準年)	R7年度 目標(-1%) R7.6-R8.5
燃料使用量(ガソリン)	(ℓ)	33,487	33,152
燃料使用量(軽油)	(ℓ)	77,030	76,260
燃料使用量(灯油)	(ℓ)	1,063	1,052
燃料使用量(LPG)	(kg)	2,334	2,311
電力使用量	(kWh)	63,848	63,210
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	322,403	319,179
水使用量	(m ³)	467	462
一般廃棄物排出量	(kg)	97,555	96,579
産業廃棄物排出量	(t)	8,638	8,552
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100
グリーン購入量	(%)	55	56
環境負荷の少ない 工事件数	(%)	100	100
地域貢献活動	(回)	14	14以上

基準年：令和4年6月1日～令和7年5月31日の3年平均を基準とする。

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2020年度実績)
(2022年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.569(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする。
- * 4. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- * 5. 環境負荷の少ない工事件数
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 環境に配慮した工法の実施

(2) 中期目標

項目	単位	R4.5.6年度 (3年平均) 実績(基準年)	R8年度 目標(-2%)	R9年度 目標(-3%)	R10年度 目標(-4%)
燃料使用量(ガソリン)	(ℓ)	33,487	32,817	32,482	32,148
燃料使用量(軽油)	(ℓ)	77,030	75,489	74,719	73,949
燃料使用量(灯油)	(ℓ)	1,063	1,042	1,031	1,020
燃料使用量(LPG)	(kg)	2,334	2,287	2,264	2,241
電力使用量	(kWh)	63,848	62,571	61,933	61,294
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	322,403	315,955	312,731	309,507
水使用量	(m ³)	467	458	453	448
一般廃棄物排出量	(kg)	97,555	95,604	94,628	93,653
産業廃棄物排出量	(t)	8,638	8,465	8,379	8,292
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100	100	100
グリーン購入量	(%)	55	57	58	59
環境負荷の少ない 工事件数	(%)	100	100	100	100
地域貢献活動	(回)	14	14以上	14以上	14以上

基準年：令和4年6月1日～令和7年5月31日の3年平均を基準とする。

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2020年度実績)
(2022年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.569(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 化学物質は使用していないので目標対象外とする。
- * 4. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- * 5. 環境負荷の少ない工事件数
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 環境に配慮した工法の実施

目標値：基準年をもとに毎年1%減。

1.1. 次年度の環境経営計画の取組内容

期間：令和7年6月 ～ 令和8年5月

キャッチフレーズ：3R運動の徹底（Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル））

項目	活動内容	担当者	期限	
CO2 排出量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料使用量削減 ○エコドライブを行い法定速度を守る ○不要な荷物を出来るだけ車から降ろす ○アイドリングストップ運動を推進する ○定期的にタイヤの空気圧をチェックする ○排出ガス規制建設機械及びエコカーの導入を検討する ○計画的な運行計画 ○燃費の管理 ○エコドライブ10のすすめを事務所に掲示し意識付ける 	営業部長 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和8年5月31日	
	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な工程管理により工期を短縮し、重機の使用時間及び台数を減らす ○重機のアクセル開度を70～80%での運用（又はエコモード運転） 	工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長		
電力使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ◎エアコンの設定温度の適正化（暖房26℃±2℃、冷房27℃±1℃） ○ケルヒース、ウォーヒースの励行 ○窓ガラスドアの冷暖房中の開け放し禁止 ○使用時以外のトイレ・会議室等の消灯 ○昼休みの消灯 ○照明センサー付照明器具の設置 	総務担当者 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和8年5月31日	
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○蛇口の閉め忘れがないか確認する ○洗車時の節水（泥落とし、節水スリッパ使用） ○漏水点検の実施 	営業部長 工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和8年5月31日	
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○社内文書は出来るだけ電子化を進め、外部連絡にはメールを使用する ○印刷時の確認を徹底し、ミスプレを減らす ○両面コピーを心がける ○内部文書の裏紙使用 ○紙ゴミは指定の袋に入れ計量し、データ管理をする ○高知グリーン推進会に入会し、OA用紙のリサイクルを図る 	総務担当者	令和8年5月31日
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の注文を適切に行い、余分な材料を少なくする ○運搬・処分委託契約を必ず交わす ○処分場の許可、処分時の追跡・調査 ○マニフェスト伝票による管理の徹底 ○分別を徹底し、再生利用を行う ○産業廃棄物は再資源化処理業者に委託する 	工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和8年5月31日
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○再生コピー紙を購入する ○Eコマース文具を選定購入する 	総務担当者	令和8年5月31日	
環境負荷の少ない 工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○低騒音・排出ガス対策型機械の使用 ○環境に配慮した負荷の少ない材料の使用（再生材料等） ○型枠、工事看板への間伐材の使用 ○環境に配慮した工法の実施 ◎ICT技術による施工の効率化 	工事部長 南国営業所長 四万十営業所長 嶺北営業所長	令和8年5月31日	
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所周辺の清掃活動の実施 ○ロードボランティア活動に参加する 	全員	令和8年5月31日	

令和6年度の活動を見直し、◎の項目を追加し管理する。

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約書	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事(高知県知事)への提出	毎年6月	工事部長	○	令和7年6月5日
	第12条の10 、11項	多量排出事業者(年間1,000t以上)の計画 の都道府県知事への提出・報告	必要時	工事部長	○	令和7年6月5日
	第14条の一 12項	産業廃棄物収集運搬の都道府県知事の許可 (5年毎に更新) 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
	規則第8条	保管場所の表示 見易い箇所に表示板を設置(縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	工事部長	○	令和7年6月27日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	その都度	環境管理責任者	該当なし	令和7年6月27日
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	その都度	環境管理責任者	該当なし	令和7年6月27日
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コン クリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設 資材を使用する努力	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体:床面積80m ² 以上 新築・増築:床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事 に届出	その都度	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
浄化槽法	第8条	○浄化槽の保守点検 浄化槽の保守点検は技術上の基準に従って実 施。(年間4回実施)	年4回	総務担当者	○	令和6年6月10日
	第10条	○年1回の浄化槽の法定点検、清掃実施	年1回			令和7年8月8日
	第11条	○年1回の水質検査実施				
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
南国市環境基本条例	第5条 第28条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
土佐町環境基本条例	第4条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和7年6月27日
700排出抑制法	第5条	○第一種特定製品(17007.5kw以下の点検・記録)	3ヶ月に1回以上	工事部長	○	令和7年6月27日
道路法	第7条2 第47条	○(仮囲、足場等)道路占用許可の申請 ○特殊車両通行許可の申請	必要時	現場 担当者	○	令和7年6月27日
道路交通法	第77条	○道路使用許可の申請 (コンクリート打設の一時使用道路の使用許可)	必要時	現場 担当者	○	令和7年6月27日
下水道法	第11条2	○使用の開始等の届け出 ・当該下水の量又は水質及び使用開始の時期を公共下水 道管理者に届け出なければならない。	随時	嶺北営業所長	○	令和7年6月27日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和6年6月1日より令和7年5月31日迄、環境関連法規等への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去三年間ありません。また、訴訟及び環境に関する外部からの苦情・要望等ありませんでした。

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

■定期見直し
□臨時見直し

令和7年6月27日
代表取締役 川崎 潤明

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																													
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																													
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等に関する違反・訴訟はありません。</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 令和6年度の環境目標の達成状況及び環境活動計画の取り組み結果をもとに次年度の環境活動計画の見直し及び指示の確認を行った。</p> <p>③前回までの代表者の指示事項への対応 社内コミュニケーションを図りながら今年一年間活動を推進した。 月別エネルギー使用状況（月間年平均値を3割超えた理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力1:冬季の暖房用エアコンの使用。 建設現場等の購入電力:現場事務所が増えたためエアコン・照明等の使用量が増えた。 灯油:冬季の暖房器具の使用。 建設現場等の灯油:工事件数増加によるローターの付着防止の為の使用。 液化石油ガス(LPG):冬場の給湯器の使用。 建設現場等の液化石油ガス(LPG):工事件数増加によるアスファルトフィニッシュの加熱使用。(スクリード) <p><改善提案> 特になし。</p>				<p>【環境経営方針】</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>環境経営方針は従業員に浸透しており変更の必要はない。</p>																																													
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 達成状況</th> <th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料使用量削減</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>遠方の工事が多く達成できなかったが、活動はよくできている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>電力使用量削減</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>達成できなかったが、換気を除いて活動はよくできている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>CO₂排出量削減</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>達成できなかったが、原単位では達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>水使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>達成できなかったが100%再資源化できている</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物再資源化率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事件数</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> <tr> <td>地域貢献活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できている。継続して取り組む。</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善提案></p>				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	燃料使用量削減	△	○	遠方の工事が多く達成できなかったが、活動はよくできている。継続して取り組む。	電力使用量削減	×	△	達成できなかったが、換気を除いて活動はよくできている。継続して取り組む。	CO ₂ 排出量削減	△	○	達成できなかったが、原単位では達成できている。継続して取り組む。	水使用量削減	○	○	達成できている。継続して取り組む。	一般廃棄物削減	○	○	達成できている。継続して取り組む。	産業廃棄物削減	×	○	達成できなかったが100%再資源化できている	産業廃棄物再資源化率	○	○	達成できている。継続して取り組む。	グリーン購入	○	○	達成できている。継続して取り組む。	環境負荷の少ない工事件数	○	○	達成できている。継続して取り組む。	地域貢献活動	○	○	達成できている。継続して取り組む。	<p>【環境経営目標・環境経営計画】</p> <p>変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>計画した環境活動への取組は十分できているが、燃料使用量の削減、電力使用量の削減、CO₂排出量の削減、産業廃棄物の削減について目標値を達成できなかったが、原単位で見ると達成できている。</p> <p>今後も全社員一丸となり計画に沿って活動を継続していきたい。 産業廃棄物は再資源化率でみると100%目標達成できている。 一般廃棄物のうち草・枝葉については堆肥に再資源化されている。 ・グリーン購入量の中長期の見直しを行った。 ・環境経営目標に対する基準年度が五年経過しているので直近のデータで中長期の目標値を見直す必要がある。</p>	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																														
燃料使用量削減	△	○	遠方の工事が多く達成できなかったが、活動はよくできている。継続して取り組む。																																														
電力使用量削減	×	△	達成できなかったが、換気を除いて活動はよくできている。継続して取り組む。																																														
CO ₂ 排出量削減	△	○	達成できなかったが、原単位では達成できている。継続して取り組む。																																														
水使用量削減	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
一般廃棄物削減	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
産業廃棄物削減	×	○	達成できなかったが100%再資源化できている																																														
産業廃棄物再資源化率	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
グリーン購入	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
環境負荷の少ない工事件数	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
地域貢献活動	○	○	達成できている。継続して取り組む。																																														
<p>【周囲の変化の状況】</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 工事開始前、挨拶励行をしております苦情はありませんでした。</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 ありません。</p> <p><改善提案> 特になし。</p>				<p>【実施体制】</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>役割・責任・権限は有効に機能しており変更の必要はない。</p>																																													
<p>代表者が自ら得た情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズに基づいて、環境活動に取り組んだ。 ・産業廃棄物講習会の内容を確認した。 				<p>【環境経営システム】</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>環境経営システムは有効に機能している、変更の必要はない。</p>																																													
				<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標について達成できていない項目があるが、売上高に対する割合（原単位）で見ると達成できている。 ・継続的に見直しを実施し、改善し、環境活動を推進すること。 ・環境に配慮した工事を積極的に提案すること。 (中温化アスファルト合材の使用、遮熱性舗装等) 																																													